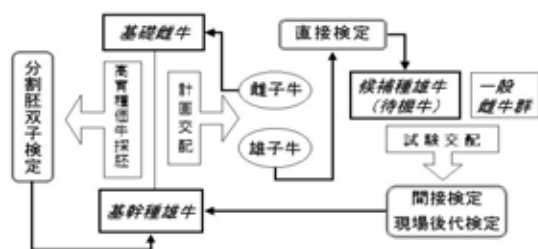


黒毛和種種雄牛「北勝次郎」「糸安菊」の作出

平成11年度産肉能力検定（直接法）で選抜された候補種雄牛6頭について、平成14年度に同検定（間接法）を実施し遺伝的産肉能力を推定した。その結果、2頭の候補種雄牛の検定成績が特に優れていたことから、凍結精液の供給を開始した。

【種雄牛造成の概要】



種雄牛造成の概要

基幹種雄牛と基礎雌牛との交配により種雄牛候補を生産し、直接法により候補牛の飼料効率や体型等を調査する。間接法では候補牛の去勢雄子牛8頭を肥育し、枝肉形質を調査して基幹種雄牛となる個体を選抜します。

表1「北勝次郎」「糸安菊」間接検定成績(kg、cm²、cm、%)

項目	北勝次郎 (n=7)	糸安菊 (n=7)	全国平均 (n=407)
日増体量	0.93 ± 0.08	0.97 ± 0.14	0.94 ± 0.12
1kg増体TDN	6.47	6.50	-
枝肉重量	383 ± 27	396 ± 53	360 ± 42
枝肉歩留	61.7 ± 0.9	59.9 ± 2.1	-
ロース芯面積	45 ± 5.9	51 ± 5.9	48 ± 6
皮下脂肪厚	2.5 ± 0.4	2.1 ± 0.3	2.2 ± 0.6
バラの厚さ	7.1 ± 0.2	7.0 ± 0.9	6.4 ± 0.7
推定歩留	73.0 ± 1.0	73.9 ± 0.6	73.5 ± 1.0
脂肪交雑	3.2 ± 1.0	4.0 ± 0.9	2.9 ± 0.9
枝肉格付	A5:5 A4:1 B4:1	A5:7	A5:56.0% A4:24.3%

産肉能力検定(間接法)の概要

北勝次郎、糸安菊ともに枝肉重量、バラの厚さ、脂肪交雑について全国平均を上回る良好な成績を示した。特に糸安菊は脂肪交雑について全国歴代6位と極めて優れていた。

また枝肉格付における上物率(4等級以上率)は、北勝次郎、糸安菊ともに100%と全国平均の80.3%を上回った。



北勝次郎 調査牛 No.2

母の父:紋次郎 祖母の父:糸光

枝肉重量:369 kg A 5

糸安菊 調査牛 No.8

母の父:安美金 祖母の父:高庭

枝肉重量:445 kg A 5

産肉能力の特徴と交配ポイント

【北勝次郎】

気高×兵庫系、兵庫×糸桜系の雌牛との交配で好成績が期待されます。小型のもの、肩付きの気になるものとの交配は避ける。

【糸安菊】

兵庫系、糸桜系などの雌牛との交配で好成績が期待されます。父が「菊谷」の雌牛との近親交配は避ける。